

京都市精神障害者 地域移行・地域定着支援事業 ～2018（平成30）年度報告～

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

京都市精神障害者地域移行・地域 定着支援事業

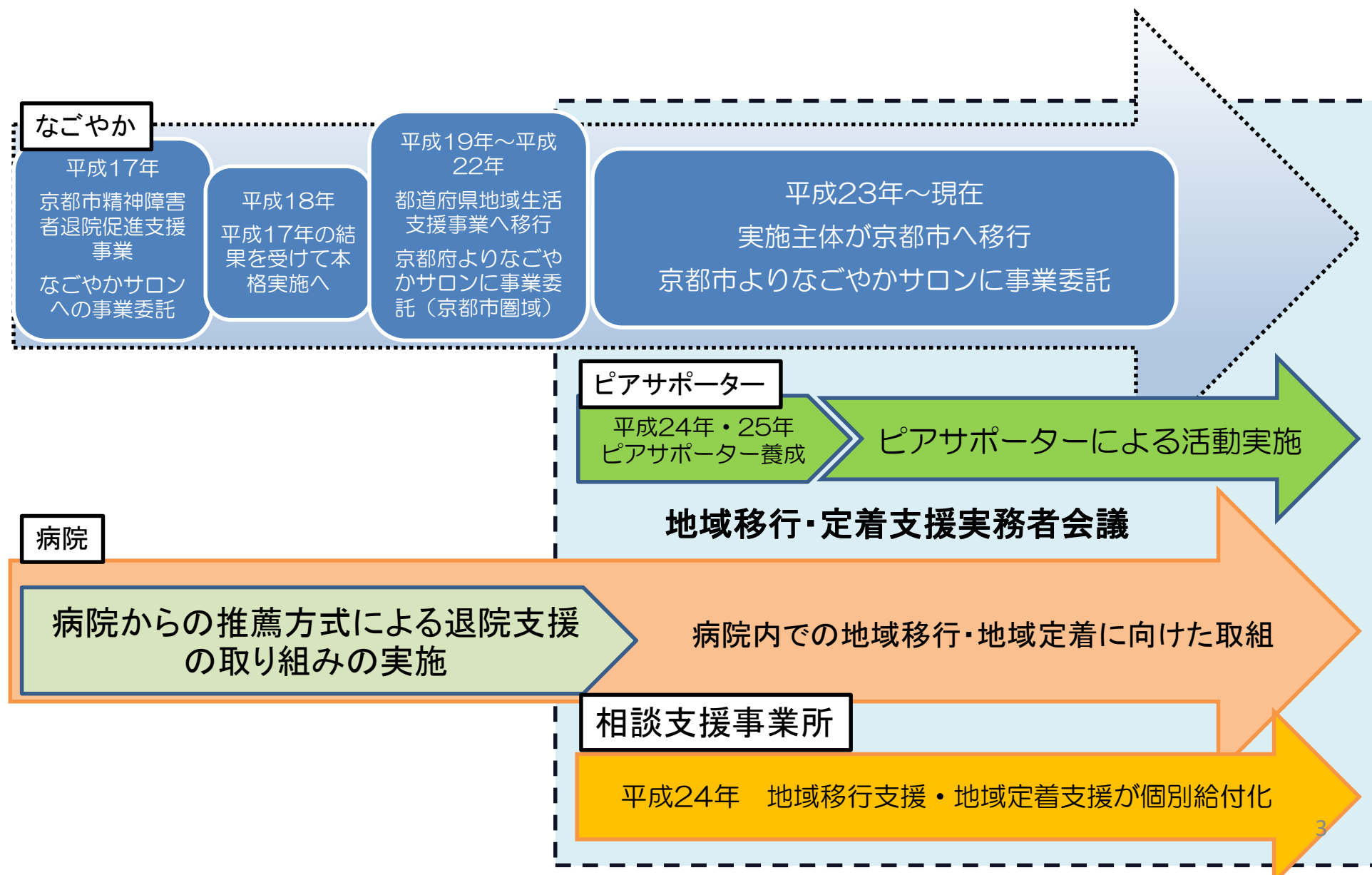
(目的)

精神障害者が住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向に即して充実した生活を送ることができるよう、関係機関の連携の下で地域生活への移行に向けた支援並びに地域生活を継続するための支援を推進することを目的とする。

(事業内容)

- 地域移行・地域定着支援実務者会議の開催
- 地域体制整備コーディネーターの設置
 - ・普及啓発・研修会企画開催・課題への助言等
- ピアサポートの養成・活用

「地域移行・地域定着支援事業」の経過



1 県又は政令市の基礎情報

京都市



取組内容

【普及啓発】

- ・事業所や病院へ地域移行支援事業の説明を実施
- ・精神科病院での会議等への参加
- ・研修や地域移行支援事業パンフレットの作成
- ・経験の浅い事業所等へのバックアップ

【精神障害者の地域移行の取り組み】

- ・実務者会議を通じてのケースの共有
- ・ピアサポーターの活用
- ・パンフレットを使用しての普及啓発
- ・体験宿泊施設を利用した居住支援

基本情報（都道府県等情報）

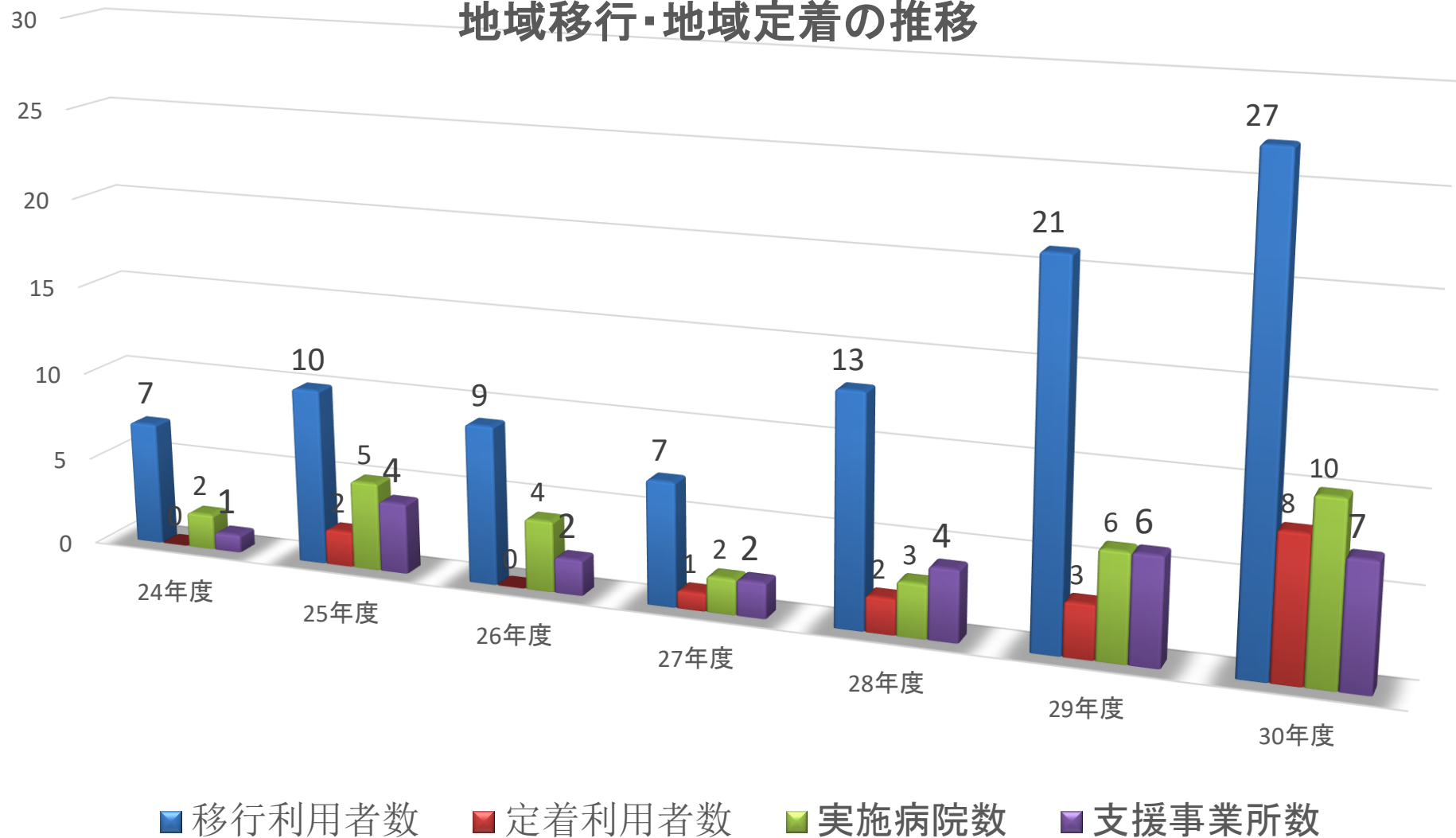
京都市

障害保健福祉圏域数（H30年3月時点）		1	か所
市町村数（H30年3月時点）		1	市町村
人口（H30年3月時点）		1,468,963	人
精神科病院の数（H30年3月時点）		12	病院
精神科病床数（H29年12月時点）		3,097	床
入院精神障害者数（H29年6月時点）	合計	2,782	人
	3か月未満（％：構成割合）	526	人
		18.9	％
	3か月以上1年未満（％：構成割合）	441	人
		15.9	％
	1年以上（％：構成割合）	1,815	人
		65.2	％
	うち65歳未満	315	人
	うち65歳以上	1,500	人
	入院後3か月時点	65.0	％
	入院後6か月時点	85.1	％
	入院後1年時点	91.8	％
退院率（H28年6月時点） ※H27年6月1か月間の退院率	基幹相談支援センター数	5	か所
相談支援事業所数（29年12月時点）	一般相談支援事業所数	40（うち、地域定着支援のみの事業所2か所）	か所
	特定相談支援事業所数	216	か所
保健所数（H30年3月時点）	1か所（各区役所・支所保健福祉センター計14か所）		か所
（自立支援）協議会の開催頻度（H29年度）	（自立支援）協議会	3	回／年
	都道府県	有・無	—
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（H30年3月時点）	障害保健福祉圏域	有	1
	市町村	有	1

	3ヶ月未満入院者数	3か月以上1年未満入院者数	1年以上入院者数	政策効果による地域移行数（目標値）	合計
平成27年6月末	517 人	448 人	1,889 人		2,854 人
平成28年6月末	540 人	458 人	1,786 人		2,784 人
平成29年6月末	526 人	441 人	1,815 人		2,782 人
平成32年度末	人	人	人	45 人	人
平成36年度末	人	人	人	人	人

京都市圏域の状況

地域移行・地域定着の推移



平成24年度～30年度 実績

	対象者数	退院者数					翌年度 継続	退院できな かった人 (※中止による支 援終了者も含む)	備考
		家族と 同居	一人暮らし	グループ ホーム	その他	合計			
24年度	7	0	3	0	0	3		1	
25年度	10	0	3	0	0	3	5	2	
26年度	9	0	2	0	0	2	5	2	
27年度	7	2	1	0	0	3	3	1	
28年度	13	0	2	0	1	4	8	1	
29年度	21	1	4	3	0	8	5	8	
30年度	27	0	14	3	1	18	8	1	

※なごやか把握数

【京都市精神障害者地域移行・地域定着支援実務者会議】

概要

地域移行のケースの報告・事例検討、研修や勉強会の企画・開催、プロジェクトに別れての検討を行っている（事務局機能は支援センターなごやか）

構成団体

地域移行支援事業を行っている支援センター、地域の精神科病院、相談支援事業所、行政

開催頻度等

月1回（定例化）

参加者数

関係機関8～10機関 毎回15～20人の参加

退院を支援するピアサポーター養成講座の実施

患者向けのパンフレット作成の協議

【①普及啓発】

●実施回数：47回

●参加人数：710人

対象	派遣先	内容	参加人数
患者	いわくら病院	院内相談会の毎月実施(計12回)	273人
病院関係者	いわくら病院	ケース検討と地域移行の取り組みについて検討を毎月実施(計12回)	72人
弁護士、病院関係者、 相談支援事業所	京都弁護士会館	京都市弁護士会と精神科病院の懇談会の場にて地域移行の説明 5月11日	17人
入院患者、病院関係者	京都博愛会病院	病棟プログラムへの参加(計10回)	115人
学生	花園大学	精神保健福祉士を目指す学生への事業説明	10人
入院患者、病院関係者	洛南病院	OTプログラムでの地域移行の説明、振り返り(計2回)	26人
病院関係者	第2北山病院	三幸会相談員勉強会にて地域移行説明	15人
入院患者、病院関係者	醍醐病院	患者さんへの普及啓発(南部自立支援協議会の取り組みへの協力)	13人
入院患者、病院関係者	第2北山病院	OTプログラムへ参加しての普及啓発(計4回)※ピア不在の為代理参加	45人
障害福祉サービス事業所	京都テルサ	平成30年度サービス管理責任者等研修地域生活(知的・精神)分野での地域移行支援についての実践報告	88人
患者、病院関係者	いわくら病院	病院のリハブフォーラムという取り組みの中で地域移行について説明を行う	32人
病院職員、地域支援者、 大学関係者	子ども未来館 会議室	京都精神保健福祉士協会記念講演打ち合わせにてピアサポート活動等について説明を行う	4人

【②普及啓発】精神科病院での取り組み

◇取り組み経過

「広く病院に組み込みを行うより病院を絞って活動を行う方が効果が上がる」という28年度の研修講師からのアドバイスや病院から地域移行を進めていくための取り組みをしたいという依頼もあり実施することとなった

◇いわくら病院

地域移行支援会議

(概要)

月1回の実施を行っており、病院と地域の事業者（支援センター、相談支援事業所）での地域移行の実施に向けて検討等を重ねており、実際の事業利用者についての情報共有等も行っている。

(現状)

11病棟での取り組み。中心は病院P SWと看護師、OTRでの運営をされている。

患者合同ミーティング参加

(概要)

入院患者のミーティングに参加させていただき、顔の見える関係を構築し、ミーティング終了後には患者さんからの個別相談を行い、退院や地域生活に向けた普及の実施を行っている

(現状)

事業説明の実施も行い入院患者からの相談も実施できた。またピアサポーターも地域生活などを伝える場ともなり活動の場ともなった。

【③普及啓発】

地域等への研修や入院患者向けのパンフレット
を使用しての普及啓発

- 平成27年に作成。
- 京都府下の主な精神科病院，行政機関，支援センターに配布
- 個別のケースでの関わり時に紹介資料として配布、研修会等での配布
- 30年度は患者向けのパンフレット作成に向けた協議を重ね、試作を行った。

【④普及啓発】

京都市障害者自立支援協議会との連携

【南部障害者地域自立支援協議会から、支援センター「なごやか」に協力依頼】

①29年度より実施されている南部障害者地域自立支援協議会（精神部会）の地域移行支援の取り組みの中で、洛南病院退院支援プログラム（OT）に参画することになった。

（洛南病院退院支援プログラム内容）

- ・退院の意欲を取り戻すための支援
- ・1回／週、全25回のプログラム
- ・外出，調理，事業所見学等

【取り組みへの協力内容】

- ・ピアサポーターの派遣による入院患者・病院関係者への意欲喚起等
- ・地域移行支援制度について説明

【⑤普及啓発】

新規事業所への説明、バックアップ

- ① 新規参入の一般相談支援事業所への支援の流れやその他書類等についての説明
- ② 地域移行支援実施における助言、支援の同行等のバックアップの実施
- ③ その他必要に応じた情報提供・収集等の協力

【ピアサポートの活用】

（経過）

平成24年度に5名、25年度には地域移行支援事業利用経験者の2名、29年度に3名、30年度に3名の退院を支援するピアサポーターとして養成した。

（現状）

- 第二北山病院のOTプログラムに参加し、地域での生活を伝えたり、患者との交流を通して退院意欲の喚起を行っている。
- いわくら病院で入院患者への相談会を毎月実施した。
- 地域での講演や大学、研修会で精神障害者の地域生活や地域移行についての普及啓発活動を行っている。

【ピアサポート（活用）】

●実施回数：５７回

実施場所	ピア従事者数	内容	参加人数	実施場所	ピア従事者数	内容	参加人数
第二北山病院	3人	OTプログラムでの交流（4月～3月）1回/週 合計33回	395人	醍醐病院	1人	病院スタッフ、地域支援関係者への体験談発表を行う 10月17日	40人
いわくら病院	5人	院内相談会での入院患者への個別面談等（4月～3月※6月なし）計11回	246人	下京区役所	3人	下京こころのネットワークでの民生委員や一般市民への小グループでの体験談の語り実施	40人
京都烏丸ビル	1人	精神科認定看護師研修での当事者体験発表 6月10日	50人	花園大学	1人	精神保健福祉士を目指す学生に対しての体験談発表 1月12日	19人
洛南病院	1人	病院OTプログラム内での当事者体験発表 6月	22人	喫茶ほっとはあと	1人	地域で生活している当事者や家族、支援者に対して統合失調症カフェのプログラム内での体験談発表	45人
左京保健福祉センター	2人	左京区こころのふれあいネットワークでの体験談発表（7月27日）	40人	宇治おうばく病院	2人	病院見学会(地域の支援者等)の中で体験談発表実施	30人
相談支援従事者初任者研修	1人	相談支援従事者初任者研修内にてピアサポーターの体験談発表（8月24日）	489人	いわくら病院	2人	病院スタッフに対しての体験談発表実施	32人
醍醐病院	1人	入院患者さんへの2名のピアによる体験談発表等による普及啓発 8月29日	13人	いわくら北小学校	2人	小学4年生に対して精神疾患の理解の為の授業の中で体験談発表	55人
いわくら病院	2人	グローバル生き方交流会(イタリアの精神科医療について等)の中で体験談発表を行う 10月6日	70人				

【ピアサポート（フォローアップ研修会等）】

●情報交換・学習会等

実施回数：8回

	日程	内容	参加人数
1	5月19日	新しく入ったピアサポーターとの交流等	7名
2	6月16日	近況報告・養成講座について、通信について	3名
3	9月8日	活動についての検討、近況報告など	3名
4	10月28日	全国ピアスタッフの集いに参加	2名
5	12月5日	あみのプログラムで大阪での教育機関へのピア活動についての研修参加	2名
6	12月15日	活動についての検討、近況報告など	5名
7	3月5日、 19日	退院を支援するピアサポーター養成講座の実施	17名(養成者3名)
8	3月30日	30年度の活動と次年度の活動について。新ピアサポーター歓迎会について	4名

【ピアサポート（新規養成）】

●養成講座

3月5日（火）、3月19日（火）実施

【ピアサポート養成講座開催について】

- ・活動できるピアサポーター数が少ない。
- ・地域移行支援を進めるために、個別支援ピアサポーターの養成を目指す。（ピアサポーターにしかできない支援がある）

【養成講座の概要】

- ・対象者は病院や地域移行支援期間等から推薦してもらう。
- ・ピアサポーター養成後のフォローアップや活動の場の拡大に向けて、実務者会議参加機関からプロジェクトチームを結成し、検討・実施を行った。

【実施結果】

3名の方が全過程を終えられ新たにピアサポーターとなった。
また3名の終了者がなごやかへの登録をされ来年度からの活動の実施を行う。

会議・研修の実施、参加

日程	会議・研修名	概要	備考
5月28日	第1回精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者会議	厚生労働省主催の会議。障害計画に関わる行政担当者への説明等	
10月19日	精神障害者の退院支援にかかる研修会		
1月28日	障害のある人の住まいについて		
2月14日	平成30年度京都市精神障害者地域移行・地域定着支援事業 関係機関研修会		主催
2月18日	第2回精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者会議	厚生労働省主催の会議。障害計画に関わる行政担当者への説明等	

居住支援について

京都光彩の会体験宿泊施設(GH賀陽敷地内)

日程	病院・事業所	見学・体験	人数	備考
10月	第2北山病院	見学	1名	地域移行支援対象者
1月 2月13日 2月20日 2月25日～26日 3月26日～28日	第2北山病院	見学 半日体験 1日体験 外泊体験(1泊) 外泊体験(2泊3日)	1名	地域移行支援対象者

居住支援の事例

○単身生活への移行

○グループホームへの入居

○その他(サービス付き高齢者住宅等)

課題

- 1, 病院によって地域移行支援事業の取り組みに差がある
- 2, 地域移行・定着支援事業を実施する事業所の拡大
- 3, ピアサポーターの活動の基盤整備
(養成、活動場所開拓など)
- 4, 他職種への普及啓発(病院、介護保険関係者等)
5. 退院先住居や体験場所の拡大と確保
6. ご本人の意思決定に至るまでの支援